

今年度の登校日数もあとわずか。卒業や進級まで「あと〇日」という掲示が見られるようになり、「別れ」を意識し始める時期になります。残された一日一日の子どもとの触れ合いを大切にしながら、子どもたちが1年間の歩みを充実感をもって振り返られるようにしたいものです。また、卒業生を送る会などの学年末の行事に向けて、役割や推進日程を明確にして計画的に進めたいものです。



### <小学校>

#### 「別れ」を考える短学活

卒業学年に限らず、学年末は、どの子にとっても「別れ」があります。クラス替えを控えた級友との別れ、1年間使った教室との別れ、そして、〇年生である自分との別れ…

「別れ」は、新しい自分と出会うためのはじめ。「何と（誰と）」「どのように」別れるか考えられると、各活動への取組も変わってきそうですね。

- ◇担任の先生のお話で、「別れ」に関する説話やエピソード、俳句や短歌などを含める。
- ◇自分が感謝したい人やもの、ことは何かを考える場面を位置付ける。
- ◇どのような自分と別れたいか考える場面を位置付ける。
- ◇個人、班、学級で、別れに向けての取組を考えたり話し合ったりする場面を位置付ける。
- ◇取組に対して中間評価する場面を位置付ける。



#### 自分が感じた思いを文章に表すことが苦手な児童に対する支援のポイント

学級活動を振り返ってAさんの書く作文は、「〇〇しました。楽しかったです」と、いつも決まった形の文で文章量も少ないものでした。

- ・Aさんが書こうとしている活動について、以前Aさんが描いたその活動の絵を見ながら、その時あったことや思ったことを話す場を設けました。Aさんの話の中で特に大切だと思える言葉を「キーワード」として付箋に書いてAさんのノートに貼りました。
- ・後日、「キーワード」を時系列に沿って並べ替え、それに関連する写真を提示しながら、「これは誰とやったの?」、「この時の気持ちは?」などと尋ね、さらに内容を膨らめていきました。
- ・Aさんが話したことを聞き取って文章にして示すと、Aさんは、「キーワード」や写真を見ながら、自分で新たな文を加えて作文を制作することができました。



### <中学校>

#### 教室環境に成長の軌跡を!

教室環境は、学習した成果を振り返ったり紹介したり、互いを認め合ったりする学びを支えるものにしたいですね。写真を用いて学級や個人の成長を振り返れるようにしてみたいかがですか。

- ① **記念写真** 大きな行事や区切りなどに、みんなが1枚に写っている写真を撮りましょう。並べて掲示すると、互いの成長が実感できます。
- ② **スナップ写真** 普段の生活の中で撮った写真を画用紙等にまとめて掲示しましょう。豊かな表情の写真は、教室を温かくしてくれます。
- ③ **頑張る姿の写真** 生徒が何かに頑張って取り組んでいる写真を掲示しましょう。互いを認め合ったり、前向きに取り組んだりする姿勢につながります。



※継続して取り組んでいくことがポイントです。掲示した写真はこまめに確認しましょう。

#### 「これを書けばいいんだ!」と思える作文における支援のポイント

その年のまとめとして最も心に残った行事のことを作文に書く場面で、何も書けずにただ黙って原稿用紙を見ているBさんの姿がありました。

- ・Bさんと話す機会をもち、1年間の主な行事の写真を見ながらBさんの思いを探っていきました。Bさんは「これ」と言ってキャンプでダンスを踊っている写真を指さしました。
- ・後日、キャンプの写真を何枚か用意し、副担任とBさんが写真を見ながら話し合う機会をもちました。練習のことと一緒に踊った友だちのこと、その時思ったことなどについて尋ね、Bさんの話したことを録音をしました。
- ・その時尋ねた項目に沿って書けるように原稿用紙を整え、写真と録音をBさんに渡しました。Bさんは自分で話したことを確認しながら文章を書いていくことができました。

